

第 5 回 富山地区学校再編検討委員会次第

日時 平成 2 1 年 7 月 2 3 日 午後 7 時

場所 富山公民館 講義室

1. 開会

2. あいさつ

3. 報告

4. 議事

(1) 幼稚園・小学校の位置について

(2) 第 6 回 検討委員会の日程について

5. 閉会

第5回富山地区学校再編検討会議 会議録

平成21年7月23日（木）午後7時

富山公民館 講義室

記録者 小磯 英明

満平 恒一

欠席委員 戸倉委員

1 開会

2 挨拶

委員長

40年の年数で校舎はどちらも老朽化してきている。どちらかの校舎を使っ
ての統合を考えているので、意見を出していただき、よりよい再編統合を進
めたい。

教育長

校舎選択の段階に来た。より良い選択をして欲しい。

その他、小中連携英語公開研究会、富山中学校県総体予選の結果報告。

3 報告

事務局 検討委員会での経過報告

4 議事

事務局 これより委員長が議事進行「出席委員18人。会議成立。」

委員長 第1号議案「幼稚園・小学校の位置について」を議題とする。事
務局より説明を求める。

事務局 資料の表に基づいて説明。老朽化が心配されている。市としても
状況を理解している。整備については調査をして資料を入手する。
その結果、大規模改造か危険改築かを決める。学校再編と施設整備
との関連は、使う校舎を決めれば、決まった校舎について調査をし
ていく。本日、どちらの学校がよいか協議を進めていただきたい。

委員 平群小になると校舎が不足する。バスの台数が倍になる。将来は
新しいものを建てるにせよ、岩井小を使った方が経費がかからない
と考えるがいかがか。

委員 岩井小を使うと決まれば、岩井小の耐力度（耐震強度）調査をし

て将来も岩井小を使うのか。

事務局 十分使えるという結果が出れば、大規模改修をして使っていくことになる。

委員 平群小でアンケートを実施した。岩井小になったら駐車場が不足する。今でも不足している。近くに確保する余地があるか。県道の道幅が狭い、スクールバスの駐車スペースが確保できない、適切か。新築まで4、5年かかる間に今の建物をそのまま使うとなれば、2階のトイレがない、男女共用トイレなど、いつの時点で解消するのか、見通しを示してほしい。

事務局 耐力度（耐震強度）調査を行い、調査結果を見てから行ないたい。統合に伴う修繕は、学校の位置が決まった後で、統合に伴う個別事項の中で詰めていく。トイレが2階にない、男女共用など、条件が悪いと認識している。

委員長 どちらかに決めていただき、その後整備を進めていきたい。

委員 一つに決めなければこの先進まないにとってよいか。岩井、平群ともに昔からトイレがない。改築しておけば。平群は環境もよい。校舎もきれい。子どもを通わせるにはベストだが手狭。現段階ではどちらかに決めろといわれて即答はできない。

委員 6月27日に視察して、岩井小の老朽化、床やトイレがこんなに古いのかと、よい印象はなかった。平群は子どもを通わせるにはよい。岩井にはたくさん問題がある。スクールバスのスペース。父兄の意見で決めざるを得ないが、今の岩井小を使うとすればかなりのお金がかかる。お金をかけ過ぎたくない、学校を残したい。平群を改修して活用することも可能ではないか。

事務局 収容能力の面で不足がある。トイレをどうするか具体的に試算してみる必要がある。どちらかに決めていただきたい。すぐに新しい校舎を建てることは考えられない。活用できる校舎は活用し将来的には当然新しい校舎を建てる。切り離して考えてほしい。どちらの校舎を利用すれば学習環境がよいか。それに伴う修繕等、やるべきことはやる。耐力度調査をすることは補助金の裏づけになる。対費用効果を考えた上で施設の改修・整備を進めたい。

委員 岩井小を使えば今の建物で収容でき、平群ならば建物を建てかえるか、増築しなければならない。

ワザンバー 必要な教室数はどうなっているか。

事務局 平成23、24年に1、2年生が39名の2クラスになる。平群

小では普通学級が2教室不足する。特別支援学級が1教室不足する。合わせて普通教室は3教室不足する。特別教室は理科、家庭科、音楽はできる。図書室とパソコン教室は1つ。八束と平群以外は別になっている。全部で4教室の不足となる。

委員 送迎のバスはどうか。

事務局 23年度は岩井150人、平群56人。24年度は岩井149人、平群60人。150名弱の岩井の輸送には大型55人乗りバスで3台、平群の輸送には大型1台と小型1台が必要。

委員 バスと教室で決まるなら岩井小に決まっている。会議の必要がないのではないかと。平群、岩井両方ともすごく古い。平群になっても、岩井の最遠より、平群の最遠のほうが遠い。箱を直す予算が無理なら、小学校では平群でのびのび、中学校は岩井地区という考えもある。

委員長 第1回の会議で、どちらかに決まれば必要な整備はすると聞いていた。

ワザンバー 平群に決まれば、当然教室を4つ作る、バスは3台動かす。岩井に決まれば当然新築。しかし早くて5年かかる。将来のことを考えてよい方向に決めたい。

委員長 みなさんの総意で決めたい。

委員 イメージとして仮設住宅と考えてよいのか。平成9年に耐震工事をやっている、大丈夫だからこのままというのでは怖い。

委員 3、4歳児が減っていない。あんなに校舎が古いのに、そのままというのは不安。どちらかの校舎を決めて、お金をかけて改修したから、十分使えるでしょうということになって、近い将来の改築事業に足かせになっては困ると皆さん考えており、そのことに不安がある。

事務局 統合で活用する学校がどうなのか、調査したい。その結果により改修か改築か判断する。

委員長 この検討委員会としてどちらかに決めて市に意見を出していきたい。

ワザンバー 保護者の駐車場がない、道路の拡張にいくら門のところにスペースを作るのにいくら、1億5千万かかってもやるのか。統合するのにかかる費用はいくらか。北三原小は3千万だった。1億かければ平群に4教室できる。

事務局 施設に関わる要件が出てくる。どちらかの施設で、どの程度かか

るか見積もりを出したいと考えている。手をかけなければいけない点を拾っていったら、校舎関係、プレハブを設置したらいくら、スクールバス運行経費でいくら。どちらの学校を使うか決まった段階で試算する予定である。

ワザバー そうならば、いくらかけてもよいということか。

事務局 試算した中で、費用対効果を考えていきたい。

ワザバー 将来的に子ども達のことを考えて、環境や安全面に配慮すべき。見た目は直したが中身が伴わなければ意味がない。近い将来新築するならば、お金をかけない方がよいと思う。

委員 選択する要素がない。データが出ていれば自分たちも考える素地ができる。現段階でどちらかに決めろといっても無理。

ワザバー 健田小を見れば古い校舎の保護者は格差に驚くと思う。平群小は丸山の南小に匹敵すると思う。5年後に建てる約束はできない、保護者として、小学校は平群、中学校は岩井地区と、環境で選ぶ選択肢もあるだろう。場合によってはお金を度外視して選ぶこともあると思う。どちらも地域としては残したいだろうが、次の世代のためにどうするかを考えなければならない。環境がよくて安全な所がよいと思うが、「どうしてもこの地区に」というこだわりをなくして検討することが必要となる。

委員 先ほどの意見は、絶対こっちに残したいという趣旨でないことを補足させていただきたい。

ワザバー 岩井に決め大規模改修をすることは、新築が遅れること。

委員 平群小でアンケートをとったところ、47人中25人から回答があった。6人がいやだ。他は統合やむをえないと答えている。どちらがよいかという質問には8割が平群小と答えている。

環境の面、岩井か平群かになった場合、平群がよい。お金の面は考えていないと思う。

委員 お金をかけず安全性が確保できれば岩井小でもよいと考えるだろう。しかし大々的に直す必要があるところに問題がある。

委員 そういったことは、両方を見積もってみなければわからない。

委員 平群は環境がよいというが、私はあまりかわらないと思う。平群は山や敷地の広さがいいというが、岩井には海がある。自分個人の意見では岩井の環境がいいとなってしまう。

ワザバー 設計に金がかかることは議論することはできない。安全については、いくらかかろうが統合するならやるべき。市の執行部のやるこ

と。試算を立てて皆さんに提示して説明しなければならない。コストから言えば岩井小が得策と考える。安全確保のために必要な経費はしかたがない。

教育長 このまま待っていただいて、やがて次の段階で、新築は時間の問題。来年再来年ということではない。今の計画は23年3月で一区切り。その後の計画の建て直しの中で議論していく。

今、膠着状態。子どもの学習環境の効率化から、とりあえず岩井という考え方。しばらくこのままの状態という選択肢もある。仮に岩井小へ建てたら60年間はそのまま。しまったといっても取り返しがつかない。まだ変化する可能性がある。議論し検討し固めたい。

ワザンバー 次の計画に新築を入れるといえば前へ進むでしょう。

教育長 個人的にはそうしたいが、私の一存では答えられない。市長がキャップ。検討委員会の意見、議会、経過を踏まえていく。今のままですばらく待つか、平群岩井かに決め、小規模改修で当分待っていただく。3、4千万は出せると思う。北三原小でそれ位かかっている。トイレは何とかなると思う。

ワザンバー 4千万は少ない。統合するには不便さが解消しなければいけない。新築が決まってしまえばがまんする。

教育長 この会議は検討する場であって、交渉の場ではない。2校あわせても子どもが少ない。子どもの学力向上のための方策や、学習の効率化促進を論議していただきたい。

ワザンバー 校長先生と事務局に尋ねたい。現在のどちらかに統合することか。平群で4教室を増設する場合、プレハブになるのか。校庭に設置スペースが取れるか。岩井小はスクールバスの乗降車のスペースをとった場合、校庭のスペースはどうか。岩井小でもアンケートを取って把握していただきたい。

教育長 岩井小からも声を聞かせてほしい。

委員 新築となったら、平群、岩井とも考えていない。

委員 岩井に、平群に、建てて欲しいとは言っていない。

委員長 どちらかに決めてそこに建てるということではない。

教育長 先は不透明だが、声を聞かせて欲しい。

委員 平群小がよいと答えた8割は、平群に愛着があるからというのではなく、環境のよさで選んでいる。平群でなければだめというのではない。現状で施設等を比較して平群を選んでいる。

委員長 子どもが減っている中で、子どものためにより方向を探るという

ことが検討委委員会としての基本だと思う。

委員長 第2号議案「第6回検討委員会の日程について」を議題とする。
事務局より説明を求める。

事務局 次回日程は、調整のうえ改めてお知らせしたい。

5 閉会